

長野県青少年インターネット適正利用推進フォーラム in 塩尻

箕輪町セーフコミュニティ推進協議会「子どもの安全対策委員会」では、スマートフォン等に係わる子どもの安全対策が必要な環境下、課題等とすることの検討を始めたことから、みだしのフォーラムに参加して学習しました。

○開催日時 平成 30 年 1 月 14 日(日)午後 1 時から午後 4 時 30 分

○開催場所 塩尻市市民交流センター(えんぱーく)

○主催 長野県青少年インターネット適正利用推進協議会
長野県将来世代応援県民会議

○参加者 事前申し込み定員 120 名(約 100 名が参加)

○開催概要

講演「スマートフォン・SNS 等と適切に付き合える力を育てる」

兵庫県立大学 准教授 竹内 和雄 氏

講演「茨城県メディア教育指導員連絡会の取り組み事例について」

茨城県メディア教育指導員連絡会会長 堤 千賀子 氏



パネルディスカッション



が行われ、説明は分かり易いもので、一般参加者にも考える時間と発言の機会が与えられたことから盛り上がりが見られた。

○竹内准教授の講演要点

- ・最近における子どもの職業希望で、1位はサッカー選手となっているが3位はユーチューバーとなっている。
- ・将来無くなる職業としてAI対応可能な職業があげられているが、グーグルの翻訳機能はめざましく、2020年にはデジタル教科書の話もある。
現在、スマホの必要性は高まっている。しかしパソコンにはウィルスソフトがあるがスマホには無いため詐欺に遭うなど危険である。
スマホに関しては、教員時代に「ネット対策」「フィルタリング」を進めたところ、いじめや不登校が減少した。スマホの「3DSはフィルタリングが可能」「new3DSはフィルタリング付き」の違いがある。
- ・都会より田舎の方が、時間的余裕(することが無い)などから、ネット接続率が高く、長野県内のネット接続率は、
高校生 98.2% 中学生 93.1% 小学生 85.2%
- ・子どもにとってラインは会話の代わりであり、最近ライン交際から座間市で9人が殺人事件に巻き込まれた事例もあり、この実態を知る必要がある。
この対策は大人だけで考えるのではなく、活用している子どもに聞きながら対策を考えないとできない。
- ・世界でスマホの先進国は日本であり、世界が日本の対策に注目している。

○堤会長の講演要点

- ・時代は、ビニ本→ゲーム→パソコンへ推移し、子どもの犯罪被害防止(声かけ、誘拐等)から子どもに携帯電話を待たせることが進んだ。
- ・保護者に訴えることは、保護者の視点で保護者が伝える事が有効で、ロコミ、井戸端会議など、特に母親のネットワークが防げる力を持っている。

○パネルディスカッションでの要点

対策に資する情報伝達等について「別のイベント活用、学校の個人面談、学級懇談会活用」とうの話から「フィルター化、使用のルール化」に及んだ。

○参加しての感想

現状からスマートフォン対策の必要性は理解でき。

- ・スマートフォン等情報機器に対する知識が必要
- ・現状把握の必要性

※同様のフォーラムは今後長野県内で5回開催予定。近隣では6日5日塩尻市と伊那市で開催される。

・関係情報の学校、家庭、地域への伝達必要性を感じました。

○添付資料

ネットの危険からお子様を守るために今、保護者ができること

～以上～